

誤飲・窒息事故編



～予防ポイントを実践して病気や事故を未然に防ぎ、救急事故を予防しよう！～

誤飲・窒息事故は、乳幼児や高齢者に多く発生します。予防には、本人だけでなく家族や周囲の方の見守りと日頃からの注意が重要です。

今日からできる「誤飲・窒息事故」予防(乳幼児)

- ☐ 食事中や遊んでいるときは、目を離さず見守る
- ☐ 食品は、細かく刻むなど食べやすい大きさや形状にする
- ☐ 食品を口に入れたまま、動き回らない
- ☐ 硬貨やボタン電池など、飲み込める大きさのものは手の届かない場所に保管する
- ☐ おもちゃは、対象年齢を確認して使用する

京都市の
誤飲・窒息事故
搬送傾向



- ・乳幼児と高齢者に多い
- ・高齢者では、12月、1月に多い
- ・高齢者では、重症の割合が高い

今日からできる「誤飲・窒息事故」予防(高齢者)

- ☐ 一口の量を少なくし、よくかんでゆっくり食べる
- ☐ 姿勢を整え、飲み込みやすい姿勢で食べる
- ☐ 食事中は、慌てず落ち着いて食べる
- ☐ 食事中は、会話を控え、飲み込んでから話す
- ☐ 飲み込みにくい食品は、小さく切るなど食べやすいようにする
- ☐ お茶などの水分をとりながら食事をする

一つでも当てはまれば 迷わず119番通報

- ☐ 喉を押さえる、声が出ない
- ☐ 呼吸が苦しそう
- ☐ 顔色や唇が紫色・青白い
- ☐ 意識がない・反応が悪い
- ☐ 異物が取り除けない
- ☐ 異物が取れても呼吸が苦しそう

応急手当と対応

- ☐ 咳ができる場合は、咳をさせる
- ☐ すべての人に実施可能な背部叩打法※を試みる
- ☐ 乳児、妊婦以外は、腹部を突き上げる方法を組み合わせる
- ☐ 乳児には、胸部を突き上げる方法を組み合わせる
- ☐ 反応がなく普段通りの呼吸がない場合は、心肺蘇生をする



※**背部叩打法**
手のひらの基部で、
左右の肩甲骨の間を
力強く数回連続して
叩きます。



京都市消防局
KYOTO CITY FIRE DEPARTMENT

救急車を呼ぶか迷うときには**#7119**をご利用ください
【監修】京都市・乙訓メディカルコントロール協議会

